北海道食文化研究会　歴代会長あいさつ

【第二代会長あいさつ】

北海道食文化研究会の活動復活
北海道食文化研究会 会長　川村周三（元北海道大学教授）

皆様ご承知のように，2020 年当初から新型コロナウィルス（COVID-19）が世界中に蔓延し，北海道食文化研究会も 2019 年以前のような活動をおこなうことができなくなりました。

そこで, 2020 年にはコロナ医療の最前線で働いている札幌市内の医療従事者の皆さんに特製の「応援弁当」をお届けしました。そして 2021 年には「北海道米と各種料理の米使いを探る」を，2022 年には「米粉の特徴とその可能性」，および「これからの北海道の食文化を考えるために必要なことをあれこれと考えてみる」と題してオンラインセミナーを開催しました。加えて，2021 年に YouTube で「北海道食文化研究会ちゃんねる」（https://www.youtube.com/@user-pe5mo8ri5f/featured）を開設し，「シェフのおうちレシピ」や「江本浩司のアウトドア飯」を発信しています。2022，2023 年には「ラジオセミナー」として FM ラジオカロスサッポロ（78.1MHz）で「深江園子のほっかいどう食文化研究室」を放送しました。この放送の録音は YouTube 北海道食文化研究会ちゃんねるでいつでも聞くことができます。現在，YouTube には 155 本の動画がアップされています。

賞味会は 2020 と 2021 年度は開催を見送りましたが，2022 年度賞味会を 2023 年 3 月に復活開催いたしました。そして，2023 年度は 7 月にセミナーの対面開催を復活し 3 回のセミナーを開催いたしましたが，残念ながらセミナー後の試食会は開催しませんでした。そして，2024 年度からセミナーと試食会，パネルディスカッションを復活し，5 月開催の第 19 回酪農畜産部会「魅力いっぱいのエゾシカ肉をもっと食べたい？！」では 100 人を超える方々に参加いただきました。

2023 年に ANA 教養講座北海道編の作成協力依頼を受け，北海道食文化研究会として監修協力しました。この教養講座は 2024 年 1 月に「食の宝庫北海道～開拓使が育んだ食文化，①酪農と乳製品の歴史，②ビールによる産業振興，③ジンギスカン誕生の歴史」として各 15 分の番組が配信されています。

以上のように，「コロナ禍」という荒波を乗り越えて，北海道食文化研究会は新しい活動も取り入れながら，従来の農林産部会，酪農畜産部会，水産部会による年間 3 回のセミナーと試食会および3回のセミナーで取り上げたテーマと食材を具体的な料理として味わう賞味会を基軸とした活動を復活いたしました。

北海道食文化研究会は，大学や試験場の研究者と北の料理人が一堂に会し、食について共に考え科学的な分析を加えながら、北海道の食の歴史と食を取り巻く環境を再認識し、我々北海道の食文化と調理技術、食の近未来を改めて模索してみようという趣旨で設立されました。この趣旨に賛同し，研究者と料理人だけでなく食料食品の生産と流通そして食の消費と文化に関心のある多くの方々がこの研究会に参加し，会員（個人・団体）は約 600 名となっています。会員の皆様には積極的なご参加をお願いいたします。

2024 年 6 月 1 日